

平成 25 年度 収集情報

項 目	内 容
テーマ	ベリー類による A 型肝炎食中毒について
調査目的や背景	<p>果物は、加熱せずに喫食することが多いため、その衛生状態によっては食中毒の原因となる。中でもベリー類は、海外各国において主な食中毒の原因食品の 1 つであり、昨年から今年にかけても、ヨーロッパやアメリカにおいて、ベリー類が感染源と疑われる A 型肝炎のアウトブレイクが相次いで発生している。</p> <p>国内でも、近年ベリー類の輸入が増加しており、汚染状況等によってはベリー類による A 型肝炎食中毒の可能性が危惧される。A 型肝炎は潜伏期間が平均約 1 ヶ月と長いことから、海外渡航歴がなく周囲に患者がいないなど、食中毒が疑われる症例であっても、原因食材の特定が難しく原因不明となることが多い。汚染状況を把握した上、状況に応じた対策を講じることが必要と考えられる。</p>
調査結果	<p>○海外の状況</p> <p>〔ベリー類が感染源と疑われる A 型肝炎ウイルスによる広域食中毒発生状況（2012～2013 年）〕¹⁾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2012 年 4 月（カナダ）²⁾ <p>カナダ食品検査庁及び州は、複数の A 型肝炎患者調査の結果、特定の冷凍ベリー製品が A 型肝炎ウイルスに汚染されている可能性があるとして製品を回収した。追加調査により、4 名の患者と製品との関連が確定し、当該製品の喫食者に対して A 型肝炎ワクチン接種を通知している。</p> ・ 2012 年 10 月～（北欧 4 ヶ国）³⁾ <p>デンマーク、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンにおいて A 型肝炎患者の増加がみられ、各国の疫学調査により感染源として輸入冷凍イチゴが示唆されている。平成 25 年 4 月 17 日時点で、71 症例が報告されている。各国食品当局では、冷凍ベリー類及び外国産のベリー類の喫食前の煮沸を推奨している。</p> ・ 2013 年 1 月～（イタリア）⁴⁾ <p>イタリア住民及び同国への旅行者で A 型肝炎患者の増加が確認され、疫学調査の結果、冷凍ミックスベリーが感染源の可能性が最も高いと示唆されている。平成 25 年 5 月 24 日時点で、41 症例が報告されている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2013 年 4 月～（アメリカ）⁵⁾ 複数州にわたり A 型肝炎患者が増加し、米国疾病予防管理センター（CDC）及び各州の調査により、特定の冷凍ベリー・ザクロミックスが関連している可能性があるとしている。平成 25 年 6 月 10 日時点で、8 州から 87 症例が報告されている。 [その他] ・ 国連食糧農業機関（FAO）及び世界保健機関（WHO）（2008 年 12 月）⁶⁾ 生鮮果物及び野菜について、微生物ハザードを懸念すべき農産物の優先順位付けを行う際の基準と、その基準を踏まえた農産物の優先度レベル分類をまとめた報告書を発表した。疾患の発生頻度や重症度、生産規模等の基準を踏まえた農産物の分類において、ベリー類は、葉物野菜に次ぐ「優先度レベル 2」に分類されている。優先度レベル 2 には、他にネギ、メロン、スプラウト類が含まれている。 ○国内の状況 [輸入量]⁷⁾ 財務省貿易統計では、ベリー類の輸入量は、生鮮、冷凍ともに平成 21 年以降増加している。 [ベリー類による危害報告] ベリー類の汚染によると考えられる食中毒の報告はこれまで認められていないが、輸入果物の微生物汚染実態調査については、これまで体系立てて実施されておらず、実態は不明である。 ○その他 [ベリー類のウイルス汚染原因] これまでの食中毒事例や各国での調査報告書などから、ベリー類のウイルス汚染の原因としては、生産工程での不適切な灌漑、施肥や使用水の汚染のほか、収穫や包装段階での手や器具からの汚染、冷凍ベリー類の場合は、冷凍工程で使用される水の汚染などの可能性が挙げられている。
<p style="text-align: center;">添付資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) ベリー類が感染源と疑われる A 型肝炎ウイルスによる主な広域食中毒発生状況（2012～2013 年） 2) 「過去 14 日間に Pomeberry ブレンド冷凍ベリーを喫食した人は A 型肝炎ワクチン接種を 1 回受けられる」(ブリティッシュコロンビア疾病管理センター（BCCDC）ホームページ)（英文） 3) 「発症が続く複数遺伝子型の食品由来 A 型肝炎アウトブレイクは、冷凍ベリーが感染源の疑い:2012 年 10 月～2013 年 4 月北欧 4 ヶ国で発生」(Eurosurveillance, Volume 18, Issue 17)（英文）

	<p>4) 「イタリアの住民および同国への旅行者における A 型肝炎ウイルス感染のアウトブレイク」(欧州食品安全機関 (EFSA) 及び欧州疾病予防管理センター (ECDC) 2013 年 5 月 28 日付 Rapid Outbreak assessment) (英文)</p> <p>5) 食品安全情報 2013 年 No.12 (国立医薬品食品衛生研究所)</p> <p>6) 食品安全情報 2008 年 No.26 (国立医薬品食品衛生研究所)</p> <p>7) ベリー類の輸入数量の推移 (平成 20 年から平成 24 年)</p>
--	---